

## 学校での学び + 家庭での学び = 「力」

本校では、学力向上のため、学力向上プランを策定し、ホームページにもアップしています。長崎市では「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育み、子どもが自ら学び、自ら考え、判断して主体的に行動できる確かな学力」を身につけることを基本政策として掲げています。

学力の向上＝「簡単に成し遂げられることではない」ものです。

学力向上のためには、いろいろな要素が大切になりますが、まず、授業をしっかり受け、それを積み重ねることが重要だといえます。始業式、入学式に黙々と努力を重ねる大切さに触れましたが、学力向上の第一歩は授業をしっかり受け続けることだと思います。

また、学校で学んだことを自分の力としてしっかり身につけるために、復習することが重要となります。即ち、家庭での学習です。問題を解いたり、学習した内容を自分なりにまとめたり、カードにして覚えるなど様々な方法があります。ほかにも音読、ウェビングマップ作成や、最近では、AIドリルも効果があるといわれています。学習する教科やその学習内容、学習する時間などによって使い分けながらすすめていくとよいでしょう。ウェビングマップとは何か？まずは、調べてみましょう。

さて、学力向上のために大切なことは様々ですが、授業を大切にするために、授業を構成する一人ひとりが大切しなければならないこともあります。その一つは授業規律です。本校では、次のような取組を行っています。生徒会活動と連携して取り組んでいます。以下紹介します。

### 1 始業・終業のあいさつについて

※2分前までには席につき、前回の学びを確認し、教科書などを広げて本時の準備をする。

※1分前には立腰し、係の呼びかけで黙想を開始し、授業に向けて心を落ち着ける。

(1) 座ったまま立腰します。

(2) 「立腰！ 礼！」の号令で「お願いします！（ありがとうございました！）」を言ってから座礼（4秒）をします。

### 2 話し方

(1) 指名を受けたら「はい」と返事をして立ち、椅子を机に入れてから発表をします。

(2) みんなに自分の意見が聞こえるような声の大きさと、必要に応じて身体の向きを変えます。

(3) 単語で話さずに、文章で伝えます。「すごい。」「すごかった。」「とてもよかった。」等のあいまいな表現ではなく、具体的に表現します。

### 3 聞き方

(1) 話し手の方を見ます。

(2) うなずいたり、メモをとったりして、考えの共通点や相違点に着目しながら聞きます。

(3) わからないことはそのままにせずに、質問したり、調べたりして、話し手が伝えたいことへの理解を深めます。

また、学校では、学力向上にあたり、「めあて」「課程」「まとめ」を確実に子供に届ける授業の実践や、安心して学び合える雰囲気を作ったり（ペア活動グループ活動での教えあい）、「言語理解力」「書く力」を育成するために、自分の力で文章を書くことならびに Chromebook を活用を推進していきます。

# ……校内の様々なところに「感謝」を……

学校生活というものは、様々なところで互いに支えあいながら成り立っていくものだと感じることがたくさんあります。以下紹介するのは、校内の様子を紹介でもあるのですが、互いに支えあって学校生活が成りたっていると感じる場面でもあります。



廊下に飾られている花。ほっとします。癒しの空間でもあります。その癒しがあるのは、花を置いた人、花のお世話する人のおかげです。



庁務員の平湯さんが、図書室の上の窓と溝、1階の廊下の窓をきれいにしていただいている様子です。黙々と作業をなされてえる姿に感謝です。



玄関に掲示しているウーリカ先生が制作した掲示物も紹介します。ふと止まって見ると、ポップな感じが学意欲を高めます。感謝です。

生徒会の専門部の掲示物にも、『ありがたい』と思います。作る時の前向きな気持ち、使命感が伝わってきます。生徒会活動は、学校を支える重要な活動ですが、その活動がしっかり行われています。挨拶運動などの様子も今後紹介していきたいと思います。

互いに支えあうことができる集団は、その集団を構成する一人一人が、皆のことを考えて行動できる力が備わっていると感じる毎日です。

## いよいよGWです……

4月29日……昭和の日、5月3日……憲法記念日

5月4日……みどりの日、5月5日……こどもの日

国民の祝日は、国民の祝日に関する法律によって定められています。上記以外に、文化の日、海の日、秋分の日、春分の日、敬老の日、山の日、スポーツの日、勤労感謝の日、成人の日、建国記念の日、天皇誕生日がありますが、1月1日は、元日？元旦？

正解は、元日です。元旦は、1月1日の午前中とのことです。

GW中は、家庭でのお手伝いを率先して行いましょう。